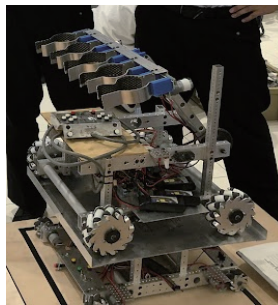


課題研究 ~取組紹介~

羽咋工業高校では3年生になったら『課題研究』という授業があります。1年間を通して数人の班で研究や作品製作を行います。毎年1月末にその成果を発表しますが、今年は校内の発表だけで公開発表がありませんでした。どんなことに取り組んでいるのか、その一部をここで紹介します。

高等学校ロボット競技大会ロボット製作 機械システム科

高等学校ロボット競技大会に出場するロボットの製作を行いました。操作型のロボットと自立型のロボット、2台の製作・改良・プログラム・操作練習を通して、モノづくりにおけるの基本や共同作業の大切さを学びました。



【感想】

- ・初めてロボットを作ってみて失敗したことが多くあったが、大会でいい結果を残せてよかった。これからの仕事にも役立てていきたいと思った。
- ・ロボットを制御するプログラムは最初は自信がなかったけれどいざ作ってみると自分の知識だけでもかなり制作することができた。

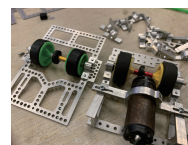
ソーラーラジコンカーの製作 電気科

ソーラーラジコンカーを製作し、全国ソーラーラジコンカーコンテストin白山に出場しました。また、来年度ソーラーラジコンカー大会に出場する後輩のために、改善点や反省点を考察しました。



【感想】

- ・一人じゃ絶対に作れないものなのでチームの大切さがよく分かった。
- ・初めての経験で不安だったけど、練習の成果が発揮できてよかった。
- ・仲間と協力し、自分にできることはやり切ったので達成感があった。
- ・大会を通していろいろなことが経験できたと思う。



ログハウスの解体と池の周りの排水工事 建設・デザイン科 建築・土木コース

授業で習った土木技術で学校に貢献するために、古くて危ないログハウスの解体と、池の周りの排水工事を行いました。

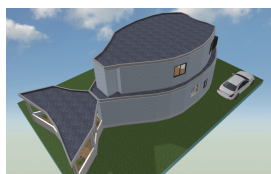


【感想】

- ・足場を組んだり大変な作業が多かったがとても達成感があった。
- ・蓋用の型枠の強度がなく、運ぶときに底が抜け大変だった。
- ・作業がとても大変だったがやりがいがあった。みんなと楽しくできたのでよかった

北陸の家づくり設計コンペ『つなぐ家』 建設・デザイン科 建築コース

オダケホームのコンペに参加しました。コロナ禍で失われた様々なつながりを取り戻すために「つなぐ家」というテーマに沿って意見を出し合いました。今まで学んだことを活かして1から新しい家を考えました。



【感想】

- ・設計から模型作りまでとてもいい経験になった。
- ・今までに習ったことを活かして設計できた。
- ・作った家の図面を3Dにして作るのが難しかった。
- ・将来につながる良い経験ができた。
- ・一から図面を考えるのが難しかった。

キャップ回収ボックス制作 建設・デザイン科 デザインコース

ペットボトルとキャップの分別をテーマとした課題研究です。キャップのみの回収箱を羽咋市内の3か所に設置することを目的として制作しました。



【感想】

- ・デザインは見た目だけでなく作りやすさを考慮しなければならないということを改めて実感した。この経験をこれから生かしていきたい。
- ・モノを一から作る大変さや、改善を重ねながらも作品がだんだん仕上がってきているのを見て、達成感を感じることができた。

課題研究の目的は

【工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、社会を支える産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することです。】

学校の
ホームページも
見てね

